



金光中学校

金光



金光竹小学校



金光小学校



金光吉備小学校



金光幼稚園

創る

未来の学校



鴨方中学校

鴨方



鴨方東小学校



鴨方西小学校



鴨方東幼稚園



六条院こども園



鴨方西幼稚園



六条院小学校



寄島中学校



竜南保育園

寄島



寄島小学校



寄島こども園

浅口市教育委員会

…キラリと光る未来プロジェクトで 子どもたちの9年間の学びと育ちをつなごう…

県内の各市町に先駆けて、全市で小中一貫教育を導入します！
～ 浅口から 小中一貫教育が 広がっていきます ～

浅口市の基本方針

全小・中学校で 小中一貫教育を推進していきます。

小中一貫教育 縦のつながり

◎学習指導要領に基づく9年間のカリキュラム(教育課程)を編成して、取り組んでいきます。

コミュニティ・スクール 横のつながり

◎CS(コミュニティ・スクール)としての活動を活性化させ、熟議によって、学校・地域・家庭が協働して子どもたちを育てます。

教職員の協働 斜めのつながり

◎教職員が協働して、9年間を通して子どもたちの教育に関わります。

浅口市の5つのキラリ

- ★キラリ1 目標設定のキラリ
中学校区で目指す子ども像を共有します。
- ★キラリ2 カリキュラムのキラリ
9年間を見通したカリキュラムを編成し、指導形態も工夫改善します。
- ★キラリ3 子どもたちの活動のキラリ
認め、ほめ、はげますことで子どもたちの教育活動を高めます。
- ★キラリ4 教職員の協働のキラリ
小中学校の教職員の「連携」と「協働」を深めます。
- ★キラリ5 家庭・地域と協働のキラリ
CSの取組を充実・深化させます。

保・幼・こども園の教職員が、1年生の授業を参観



理科専科教員が高学年の指導

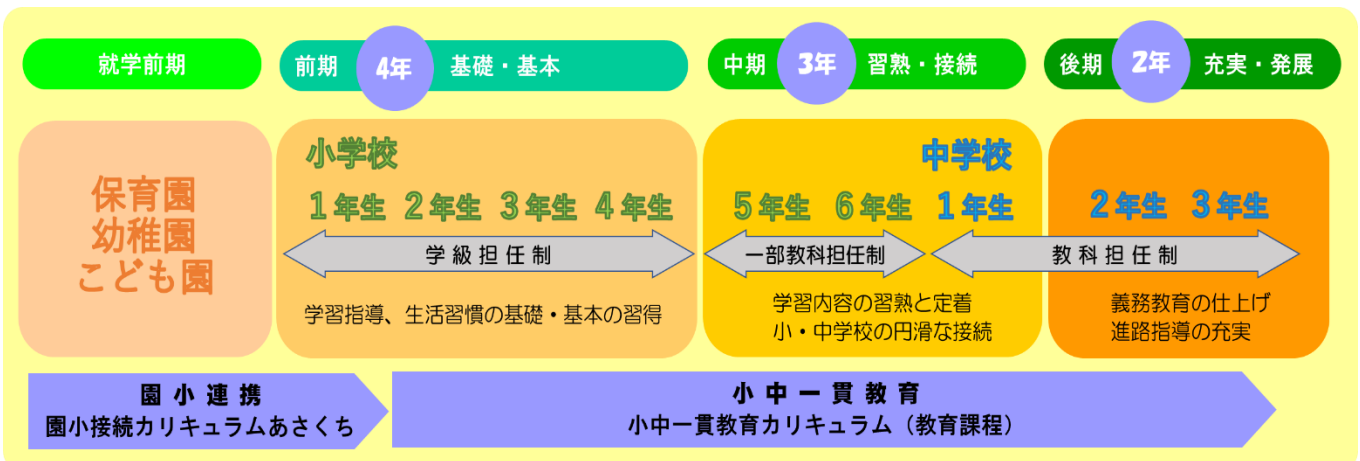


6年生と中学生の交流



浅口市の小中一貫教育のイメージ

中学校区の教育目標



平成25年から始まった小中連携教育は、令和の時代を迎え、 小中一貫教育という新たなステージに進化します！

☆教職員・保護者・地域の方々が連携・協働します

中学校区で教育目標を設定し、目指す子ども像を共有して、教職員はもちろん、保護者や地域の方々が今まで以上に連携・協働して、子どもたちの様々な教育活動を推進していきます。

★キラリ1



小・中学校の教職員と保護者・地域の方が、目指す子ども像について合同で話し合います。
[学校運営協議会の熟議の会]

★キラリ3



全校生徒が、縦割り班でほめ言葉のシャワーに取り組みます。
[中学生の全校集会]

★キラリ5



☆小学校から中学校へ 滑らかに接続します

小学校の高学年から中学校の教員が関わり、乗り入れ授業や小・中学校の教員の協同授業・TT(チームティーチング)を実施します。9年間を通して、多くの教員が子どもたちに関わることで、小学校と中学校の滑らかな接続を図り、指導を充実させていきます。

★キラリ4



中学校の教員が、小学校に行っ
て授業をする機会を設けています。
[英語、体育、社会(写真左から)]



☆9年間を見通した小中一貫教育カリキュラムを作成します

理科や英語・外国語活動、総合的な学習の時間等、浅口ならでの視点から、小・中学校の教科・領域のカリキュラム(教育課程)を編成します。いずれも学習指導要領に沿った指導ですから、子どもたちの転入・転出があっても、他地域とのギャップで困ることはありません。

★キラリ2

ALTや支援員を配置したり、専門家を派遣したりすることで、授業での個別支援やサポートを充実させています。
[支援員等の配置]



中学校の理科を、天文博物館の職員がTTで指導しています。



教育課程の編成について、教務主任が協議しています。



小学校外国語の授業を、ALTと専科教員がTTで指導します。

さらに充実！ 最善の教育を浅口の子ども達に！

浅口市では、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、一人一人の可能性を最大限に伸ばすために、全ての中学校区で、特色と魅力ある小中一貫教育に取り組みます。

Q. 小中一貫教育とは？

◎小学校と中学校の学びと育ちを、義務教育 9 年間の連続性の下でとらえ直し、計画的、系統的な教育課程を編成し、子どもたちの能力や個性を引き出すことができる教育です。

Q. 小中一貫教育で、何が変わるの？

- ◎小・中学校で目指す子ども像を共有し、教職員が一体となって子どもたちの「生きる力」の育成を図ります。
- ◎小学校高学年から音楽や家庭科だけでなく、理科や算数、外国語活動、体育などにも一部教科担任制を取り入れます。
- ◎中学校教員の専門性を活かした研修を小学校とともに進める等、教職員間の「連携」と「協働」が深まります。
- ◎小・中学生がともに活動する機会が充実し、義務教育 9 年間の教育活動の連続性が高まります。

Q. 小中一貫教育の特徴は、何？

- ① 子どもたちの視点から
 - ◎中学校への滑らかな接続を図ることで、いわゆる「中 1 ギャップ」が緩和されます。
 - ◎学力向上や不登校の減少などが期待できます。
- ② 教職員の視点から
 - ◎小・中学校の教職員間で、授業改善や生徒指導の手法など、お互いの良さを取り入れる意識が高まります。
 - ◎中学校卒業後の進路を見据えた学力保障の必要性に対する意識が高まります。
 - ◎教職員の意識改革が進み、指導方法の工夫や改善につながります。
- ③ 保護者や地域の視点から
 - ◎小・中学校 9 年間のいろいろな情報が共有され、地域ぐるみで子どもたちの 9 年間の学びと育ちを支えていこうとする機運が高まります。

◆小中一貫教育の導入・推進計画

年	月	浅口市教育委員会	各中学校区
令和元年	4月 8月	◇浅口市小中一貫教育推進委員会の設置 ◇「浅口市小・中学校一貫教育基本計画」の策定	◇鴨方及び寄島中学校区でCS(コミュニティ・スクール)開始
2年	4月 8月	◇小学校新学習指導要領本格実施 ◇小中一貫教育推進にかかる教職員全員研修会	◇金光中学校区でCS開始 ◇先進地の視察
3年	4月 11月	◇中学校新学習指導要領本格実施 ◇各中学校区で、小中一貫教育開始 ◇小中一貫教育にかかる授業公開[浅口教育週間]	◇3中学校区で小中一貫教育開始
4年	4月	◇小・中学校の9年間を見通した教育課程の推進	

☆学校・家庭・地域が連携・協働しながら、それぞれが当事者として浅口市の未来をつくる子どもたちを育てていきましょう。

浅口市教育委員会 Tel 0865-44-7012 Fax 0865-44-7602